

蒸氣砲 (Steam Cannon)

蒸氣砲發明説

和蘭寶函所載

箕作阮甫譯

若し普くは具と風のりよりしてハ用之の法より及りて其
業とせんりり文は疑ひなきは又吾儕の希をす
而しては之を登賜せしと然る事ありて之れはハ
キンス人君も後事として決りたる為今遂に具
と用ゆりて其の因りなり今も其の法也と懐碑す
る用ゆりて其の具ハ其の具ハ如く之のなきと其具と

突發せんころめハキンスの局場よてこれと試みず果
して其の力顯著ハ今ば試放す後て其の状と
池に於て着者ハ其の受たる也

其試放と行ハ其のウエルリニグト人及ハ其の傳の上其官
領め試放と行ハ其の後ハキンス快槍と目的とナリ也

と局場の一層ハ重く中程者ハ二十ハヤールツ大抵三

十二合者あり 一合ハ其の音數ハ 袖ハ其の少の壓力 其の音數ハ

の力なり 其の音數ハ 其の筒ハ其の製の銃砲と對する

筒の孔の廣ハ通常ハ銃砲の筒孔同ハ其の法快槍

子申て平扁となり又少く一壓力も高加して射るよ
う弾細弾して飛ぶを又少く一トイム^{ロイム} 木板十
二枚と以て正射し送り送るの如く重く但木板よりて並
之し一枚毎に同隙を設るる一トイム弾丸を一枚と費
てハリスケセンスリッゲル<sup>木製にしてスリッゲル^機の如く一長と
以て忠とを一旋轉するものなり</sup>
と用ひて火薬の力と精強するよ木板十枚と同費
する蒸氣の力ハ恰も火薬の力と同じと云ふ事又
別と厚と一トイム四分の一の換板と正射し(劍銃は用ひ
る彈丸と射るよ又換板と費く我を我に蒸氣力の

元分り力よあはし僅く唯を中と用ひの如く世試放よ
用ひしより壓力ハ一トイム四多と壓するの大概九百射
度(而して蒸氣の壓力は約四又倍と元分の蒸氣力
と用ひんと欲する時は壓力は三倍するの力と以て放
射するト更に好害なり法試放するよ蒸氣を用
ゆる者ハ唯火薬より大なる力と得るの如く以て費
と省くト亦甚多し例するよ蒸氣^カ紙と用ひ不
意不後の後と以て射るよ一トニエート<sup>五射と云ふ
十の</sup>の二三百
又十彈と射るト一トイム^一射るハ一トイム^一射る(一トイム^一の

彈丸と射るより石原と射るより大抵和蘭の二百の千
射るより射るの流と似て二百の千の彈丸と射る時ハ又
一万の千の黃色と要は二百の千射るの石原の要は二百
の千の黃色乃黃と比す。時ハと云ふ甚大にして四日の
偏ありし。

又又蒸氣砲乃流砲流は勝るの夜とある今蒸氣
砲ハ一程の偏斗は彈丸と射る流は筒内は鑿入
としじ組と似てクリニック横本と付くは組の辨と旋物
十通ハ忽ち速る筒内は鑿入して運送せしむじ次

辨と并せてクリニックと旋物ハ筒内は蒸氣を
蒸氣と射るなり車輪の軸は具ありは具ハ
筒と射るは油ハ又又と標をばは又をウィール
按一線車乃木棍ウィールを刺してのゆく突かすもの軸
の用ハ世のや、許々の木棍按一線と圓をば旋物ハ
ハ物の旋物十字形は兩直と旋物毎は必木棍と筒と流を角と名をよむ
なとて

世管の筒は密をす、又ハ一個の辨と設けは辨とす
ハ十二個の彈丸と重くは管按一程の偏斗と稱す。の端末ハ

密子深へ一旋物して倍重するといふ脱離の患な
かりし木棍^ト掃^ト復^トと筒と鉛直より一辨と深く射る
彈丸を自まるとして筒内は放射しを速なるより一三
ト小の数をもちて彈丸の進出するを中流て連続の
やくを管おのハ雷管乃中流てび一とらや一筒と男
中ら右の彈丸ハ三よりハ四セコト^{一三ニコトの卒}不放射し
を^{この二はあ}する一はのやく快槍より射るる二回より及り彈
丸の碎片細粉地とて後被する又本板厚と大抵二
フートある者とと況はあて水竜の毛筒附く筒

乃やく少一フ横子動し本板と眼よて射るる
彈丸本板と同費し乳舟整子横を並へ各距離
るを殺す^{オハト}是よりて之とを二ハ一取筒と筒の
る射るニセコトの男少をく一コトハクニイ^{隊の}乃を
まを斃す^{隊の}一射る右の彈丸の数を一バタイ^{隊の}三
乃を士カとを^{隊の}一して射するよりあ^{隊の}一又厚を十八
トイム乃石を^{隊の}射て試る^{隊の}一と彈丸一トイムフ一回と
筒と射中と銃銃は月の中は丸と射るに厚と一ッ
トト海丸トイム乃備とあはれは彈と用ひはる

と似て大...の...
と似て大...の...
と似て大...の...

英吉利のコーフルグランド名大よは其の表と云んす
其後米世其よりして大田とゆふより十挺の意
未進納と世我より用ひハを考る世戦他二百挺と傳
一又世他を我とゆふ軍艦ハ七十口砲船銃す
是の世其と一三二一トのる一五口深と放射一銃
令申すもの僅は二十分の一とすは他十挺と復
くら世ハ一日に十八万人の軍と挫撃す十口砲艦力
の具と軍銃より用ゆハ不仁は他これハ一はと用ひ

ハゆと大田となんる日と約して行一何と云ハ

世其の用法を今用ゆは徳皇他院より發する世

銃の刀劍槍箭世其は行ろくなくは世其古付刀

て他院の用法ハ刀劍槍箭の用法より發する世一物と大他院
を用ゆるは世其今世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其
世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其

世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其

世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其

世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其

世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其世と用ゆるは世其

取らざるの事と云ふは、
借は没げらる、
多く浮丸と射出して進登の志士多し、
し横原と以て再び倍孔充塞する、
西也

辛亥新聞紙

別紙風流書

一 嘉永三年戊午五月廿四日、
シテリツキ、ヤウリツツ、
ル人死を伝ふ

一 右次男統との事少との死亡と、
嘆法成の事

一 右目ハ「スウエーデン」
和蘭元國王の弟の娘と嫁組法

一 壬戌十月二十日、
督統事勅語ハ「プリンス」
ランゲン名「リエクセンビエルグ」
和蘭屬の支死と取ル

一 欧羅巴洲申免角を發せ、
ま限りむ百餘億金、